

1. ラジオ・カリビアン (Radio Caribbean) (報道時間：約 2 分)



視察当日夜のニュースにて報道



案件について説明する JICS 担当者及び当館職員



インタビューを受ける JICS 担当者



給水塔建設の様子



水道配管埋め立て工事の様子

報道内容（概要）

3 月 22 日は「世界水の日」であり、当地の水・衛生環境を整備する必要がある中、日本政府はレオガン市において給水施設整備計画のプロジェクトを実施している。本プロジェクトは日本政府が約 4 億米ドルを供与しており、昨年の 11 月に工事が着工した。案件実施は、当地のハイチ水衛生局（DINEPA）の協力のもと JICA が行っている。工事は、給水塔を建設するロット 1 と給水塔から市内までの配水管を設置するロット 2 に分かれており、前者はハイチ建設会社の Groupement Eccomar s.a./Gretco s.a.が担当し、後者は同じくハイチ建設会社の A&R Construction s.a.が担当する。

2. テレ・ギネン (Tele Ginen) (報道時間：約 6 分)



インタビューを受けるヴェルナデット
(Vernadette) シスター



結核病院内の様子



給水塔建設工事の様子



当館職員，中央開発コンサルタント担当者，JICS 担当者

報道内容（概要）

3月24日は「世界結核の日」であり、30年以上ハイチの保健分野に貢献した須藤シスターによって日本政府から支援を受けこのシグノ結核病院は2010年の震災以降に再建された。この結核病院は約70名の結核患者を収容できるが、現在当地の看護師人材不足により保健省が人員を配置できない状況にある。

現在、レオガン市内では日本政府の支援により給水施設整備計画のプロジェクトが実施されている。昨年の11月に工事が着工し実施期間は10ヶ月、日本政府からの供与金額は約4億米ドルとなっている。このプロジェクトの目的は、レオガン市の人々に飲料水をもたらすことで水・衛生の環境を整備することである。プロジェクトの保証期間は2035年までとなっており、本プロジェクトで建設される給水塔の容量は300リットルとなっている。